

授業科目名： 英語表現 (writing)	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 森 直樹
			担当形態：単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校及び高等学校 英語)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・英語コミュニケーション		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>英語科教員に必要なパラグラフ・ライティングを中心とした英語文章表現スキルをみがく。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>本授業では、まず、テキストに沿って、①パラグラフ・ライティングの基本を学ぶ、②まとまった文章を英語の論理展開に沿って書く方法について学ぶ。</p> <p>スクーリングでは、各自が書いたパラグラフについて発表し、担当教員及び受講学生間で相互評価を実施する。パラグラフの再修正を通して、自身の英語文章表現のスキルアップを図る。また、エッセイ・ライティングの基本を学び、実際にエッセイを書いてみる。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：本授業の学び方、パラグラフとは何か (テキスト Chapter1)</p> <p>第2回：出来事を語る (テキスト Chapter2)</p> <p>第3回：手続き・手順を説明する (テキスト Chapter3)</p>			

第4回：感情を描写する（テキスト Chapter4）

第5回：人を描写する（テキスト Chapter5）

第6回：場所を描写する（テキスト Chapter6）

第7回：データ分析（テキスト Chapter13）

第8回：人物や物事を定義する（テキスト Chapter7）

第9回：比較と対照（テキスト Chapter8）

第10回：原因と結果（テキスト Chapter9）

第11回：問題と解決策（テキスト Chapter10）

第12回：賛成意見を述べる（テキスト Chapter11）

第13回：反対意見を述べる（テキスト Chapter12）

第14回：英文 E メール・英文レター（テキスト Chapter14）

第15回：エッセイ・ライティングの基本を学ぶ。エッセイを書く。

定期試験

\*スクーリングでは第7回～第9回と第15回を中心に行い、すべての内容を包括的に取り上げる。

教科書

仲谷都・吉原学・Ruth Fallon(著) 『Smart Writing—はじめてのパラグラフ・ライティング』, 成美堂, 2017

参考文献

(1) ケリー伊藤 (著) 『英語パラグラフ・ライティング講座』 研究社, 2002

(2) リーパーすみ子・横川綾子 (著) 『アメリカ人なら小学校で学ぶ英文ライティング入門』 アルク, 2014

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。